

10905その他の窯業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	8~9	工場の樋の修理のため、3~4mの梯子で作業中、バランスを崩して後方に転落し、腰を骨折した。	36	1	371	1~9
2	2017	8	15~16	工場内の碎石製造ラインの操作室より、工程確認のため、製造ラインへの通路となる45°程度の昇降階段を降りるとき、誤まって2m程度下の踊り場まで転落し、左腰から後頭部を階段・手摺り・踊り場の床に強打した。	67	2	413	10~29
3	2017	6	11~12	本社工場2階、半自動成形ラインにて、通常1人作業ラインであるが、急ぎ成形を行うため、2人作業で行っていた。作業工程で異常が発生したので、被災者は安全だろうと思い込んだまま、手順を変え、作業を進めていた。被災者が金型についた粘土カスを拭き取っていた時、吸着が下降し、金型と吸着の間に左腕が挟まれ、負傷した。尚、もう1人の作業者は、この労働災害発生原因に関与していない。	39	7		100~299
4	2017	4	11~12	コンクリート試験室にて生コンの試験練りを実施し、終了後に試験練りミキサーに水を入れうがい洗浄中、電源を止めずに洗車ブラシでミキサー内側壁を洗う不安全作業をしてしまい、回転しているミキサーの羽根に洗車ブラシごと右手の甲が巻き込まれ受傷した。	25	7	162	1~9
				高さ4.5mに設置してある蛍光灯を交換するために、高さ4mの梁に2連梯子をかけて交換しようとした。梁のあたりに到達し				50

5	2017	3	16~17	たところで梯子が後方に滑り落ち、本人の両腕が、一旦梁にかかったが、そのまま下に転落した。梯子をかける角度が75度でなければいけないところ、50度前後だったためと思われる。	25	1	413	~ 99
6	2017	3	11~12	使用済み原材料フレコン廃棄のため、リフトカーにて廃棄場へ移動開始した。移動中に廃棄場手前で透かし木箱からフレコンが1枚落下したため、廃棄場約5m手前でリフトカーを停止させた後、降車して落下したフレコン1枚を手で拾い歩いて廃棄場へ移動し投棄した。リフトカーに戻ろうと歩き出した際、廃棄フレコンの吊り紐に足が引っ掛かり、前のめりに左側面から転倒した。転倒後、座り込んでいた被災者を近くにいた2名で詰所に移動させたが、動けない状態が続いたため救急搬送した。	53	2	379	100 ~ 299
7	2017	2	11~12	混練機（横式）のオイル交換を行うため、2F鉄工場に仮置きしてあった混練機をホイスト式クレーンで吊り上げた。地切りした時点で混練機が揺れ、台木が倒れた。台木を左手で起こそうとしたところ、吊り荷の混練機が手前に戻り、混練機と台木との間に左手人差し指が挟まれ負傷した。製造ライン改造のための非定常作業であった。	38	7	612	30 ~ 49
8	2017	2	16~17	事業所併設倉庫内にて、壁面を補修する為に、脚立に上りコンクリートパネルを打ちつけようとしていたところ、バランスを崩し転倒した。胸部を打ち負傷する。	56	1	371	50 ~ 99
9	2017	1	14~ 15	鑄造用中子製造工場内の中子製造機の調整中、本来操作スイッチを手動に切り替えてから調整すべきところ、1サイクルの状態にして対面側にあるリミッターの調整をしようとし、可動側金型取付部とシリンダー固定部の間に左腕を入れて指先でリミッターを動かしたため、可動側金型取付部が開の状態になり、シリンダー固定部の間に腕を挟んだ。	32	7	169	10 ~ 29
10	2016	12	15~ 16	薪干し場で、薪の皮を鎌ではなく作業中に、誤って左中指を切った。	75	8	364	1~ 9

11	2016	12	10～ 11	設備の蓋をしようと持ち上げた際、腰に負担がかかり腰痛をおこした。	37	19	169	100 ～ 299
12	2016	11	11～ 12	洗車場において、コンクリートミキサー車を洗車の際にステップから足を踏み外し、地面まで滑り落ちた際、右足から着地し、右足の踵を骨折した。	54	1	221	1～ 9
13	2016	10	11～ 12	瓦の白地に釉薬を塗布する工程で、不良品を取り除こうと脚立足場に乗り、作業をし、降りる際に隣にあった施釉タンクのバルブ部分に足をひっかけてしまい、高さ20cmくらいから転倒して大腿骨頸部を骨折した。	47	1	371	30 ～ 49
14	2016	10	13～ 14	工場内で、木のパレットに梱包した製品を積む作業中に、木のパレットの端に右足が引っかかり、製品を持ち上げた状態でバランスをくずして腰をひねった。	64	19	921	30 ～ 49
15	2016	9	17～ 18	正門の所で、閉門作業をしようと作業に入ったところ、扉の軌道敷地内に水たまりがあったので、それを飛び越えようとジャンプしたところ、足を滑らせ転倒し骨折した。	24	2	417	10 ～ 29
16	2016	9	9～ 10	鬼瓦のプレス中、金型と下のレールの横についている型押さえのところ左手を置き金型を手前に引いた時、左手中指を挟んだ。	65	7	169	1～ 9
17	2016	6	16～ 17	炭窯の天井をハンマーでたたいて作っている時に、ハンマーがはね返り、落ちてきて左手小指を負傷した。	33	4	364	1～ 9
18	2016	6	9～ 10	工場の南側入口付近にて3tダンプトラックの荷台上の廃棄瓦をハンマーで粉碎・整理する作業を終え荷台から降りようとした際、足元の瓦が崩れ足を取られ瓦の上を滑り、ふんばろうとした所、荷台に昇る用のハシゴに右足が引っかかり荷台後ろから1m下の地面に落下し、右手、右ひじ、右腰を強打した。	42	1	221	1～ 9
				工場敷地内で、トラックの荷台に上がろうとして、アオリの凸				30

19	2016	6	9～ 10	部に足をかけ、エビ金具を手で持ち荷台に上がろうとした時、荷台が高く上がれないため降りようとした。その際、手または足が滑って落下し、左後頭部の切創と左脇腹を打撲した。	71	1	221	～ 49
20	2016	4	18～ 19	製品パレットにシュリンクのひもをホッチキスで止め、ホッチキスを置き場に戻し、リフトに乗りこむために、爪の前を通る際、右足をリフトの爪に引っ掛け、前かがみに体勢がくずれ左足のひざから地面に落ち負傷した。	61	2	417	30 ～ 49
21	2016	2	9～ 10	工場内においてフットスイッチプレスにて作業中、通常足でペダルを踏むと吸着エアーが降りてきて、商品を吸い上げ取るようになっているが、はみ出た粘土がペダルの上に落ち、自動でスイッチが働いてしまい、吸着エアーが降りてきてしまった為、あわてて製品を取ろうとした際に、左手を負傷した。	49	7	169	10 ～ 29
22	2016	1	11～ 12	原土に加水混合する工程で、休み明けの調整作業を行っていた時に、混練機を止めずに土の出口を掃除していた時に、手袋が掃土バーに引っかかり巻き込まれ、左手薬指の先を負傷した。	40	7	162	10 ～ 29
23	2016	1	8～9	工場において、土練機清掃およびスクリュー入れ替え作業中、使用済みのスクリューを床上に置き、作業を続けようとし歩行した際、床上に置いたスクリューの羽根が誤って左足に当たり、負傷した。	43	13	417	10 ～ 29
24	2015	11	8～9	工場内3階の白地置場にて、高さ140cm程度まで4段に積み上げである白地の鬼瓦の4段目を手で持ち上げておろそうとしたところ、3段目の瓦がひっかかり、左足のつま先に落下した。	41	4	529	30 ～ 49
25	2015	11	15～ 16	事業場内作業場にて木材切断機を使用後、切断機の停止ボタンを押した。しかし、刃の回転が完全に止まる前に左手親指が触れてしまい負傷した。	24	8	139	10 ～ 29
26	2015	10	13～	作業場内において瓦成型作業中、プレスラインに設置されたベルトコンベアのフレーム（高さ50cm）に上がり、手を伸ばしプレス部の金型にキズを付け、そのまま後ろ向き状態で通路に	30	2	224	50 ～

			14	降りようとしたところ、ベルトコンベアに掛けていた足が滑り後方へ転落した際、通路に着いた右手を負傷した。				99
27	2015	9	13～ 14	タイルの選別中にタイルがたくさん流れてきた為左手でタイルをささえた時痛めた。	57	6	224	10 ～ 29
28	2015	4	14～ 15	カレットコンベアの清掃作業終了後にコンベアから踏み台（高さ約50cm）に乗り床に降りる際、誤って足を踏み外して落下した。	72	1	224	—
29	2015	4	8～9	煉瓦をタンブラー（レンガ加工機）に投入する作業中、パレットの上の煉瓦を全てタンブラーに投入した後、空パレットを隣のレーンの空パレットの上に重ねようとして持ち上げたところ、バランスを崩して転倒し、空パレットが腹部の上に落ち、負傷した。	58	4	379	10 ～ 29
30	2015	2	6～7	棧瓦選別場にて棧瓦選別作業中、左に振り向いて不良品の瓦を1枚ずつバツカンに投げ入れた際、腰に痛みを感じた。	48	19	529	30 ～ 49
31	2015	2	15～ 16	工場内の養生室前において、型枠の点検作業をしていたが足をすべらせ転倒した。	64	2	417	10 ～ 29
32	2014	11	6～7	工場骨材プラント現場にてふるいの落下口の鉄板の摩耗防止用のゴム板を張り替えるため、カッターナイフで切断したが寸法が合わなかったため、カッターナイフで調整切断中手が滑りゴム板を支えていた左手親指の第一関節付近を切った。	51	8	364	30 ～ 49
33	2014	8	21～ 22	工場において、瓦を積み上げる積機ローダーのシリンダーパッキン交換作業を助手として行っていた際、作業手順が通常と違ったため、シリンダー取付部の鉄部が落下し、足指部（左右）に当たり負傷した。	31	4	521	10 ～ 29

34	2014	8	9～ 10	ベルトコンベアの・・・	50	7	121	30 ～ 49
35	2014	7	8～9	製造搬送ラインの結束・梱包を行う場所（水平結束機と垂直結束機の間にある搬送コンベアチェーン）で感電死亡事故が発生した。	44	13	169	1～ 9
36	2014	4	16～ 17	敷地内にてスクリーンフィーダー（粘土を練る機械）の清掃時、機械をとめずに機械の横部の網の部分に付着している土を鉄のヘラで落とす作業中、鉄のヘラが跳ね返って後方のアングル（鉄柱）と鉄のヘラに手を挟まれ右手の掌の中指を被災。	36	3	169	10 ～ 29
37	2014	3	20～ 21	工場内階段部分をベビーサンダーで修理加工中、サンダーを止めずに体制を変えた際、回転中の刃が横手の金属に接触し、その反動でサンダーが手前に跳ね返り、左膝頭に刃が接触し、長さ50mm深さ10mmの裂傷を負った。	35	8	153	100 ～ 299
38	2013	12	15～ 16	マシニングセンタから製品を取り外し、持ち上げて運ぼうとした際、腰に痛みを感じて動けなくなった。	46	19	612	100 ～ 299
39	2013	11	5～6	原土ラインのコンベアドラムに貼り付いた粘土を取り除く作業中、自動運転のまま取り除いた為、腕がコンベアドラムに巻き込まれた。	27	7	224	50 ～ 99
40	2013	11	15～ 16	乾燥炉のシャッターの異常が生じた為、被災者が脚立に登って作業中、脚立から降りたところ、バランスを崩し落下し、手を強打した。	51	1	371	1～ 9
41	2013	10	9～ 10	製管機の調整作業中、切断機に手中指先が挟まれた。	44	7	159	10 ～ 29
				汚染土壌処理設備に原料を投入する作業中、投入後にベルトコ				30

50	2012	9	16～ 17	リフトで梱包器をずらそうとした際、梱包器が傾いたため手で直そうとしたところ、機械が倒れ足を挟まれた。	59	5	222	30 ～ 49
51	2012	9	14～ 15	工場にて、土管を製造していた際、土管の原料である粘土から石礫を取り除く機械に溜まった石礫を処理しようとしたところ、一对のローラーの隙間に手の人差し指と中指を挟まれ、人差し指は骨折、中指は骨にヒビが入った。	66	7	162	1～ 9
52	2012	8	11～ 12	木パレットを電動鋸で切断していたところ木パレットに刺さっていた釘に鋸の刃が当たってはじけ、自分の太股に当たり、裂傷を負った。	61	8	131	30 ～ 49
53	2012	8	16～ 17	プラント工場にて、約2mの高さにあったベルトコンベアにグリースをさそうと片手にグリースガンを持ち、もう片方の手で支柱をつかみ、床から50～60cmの箇所に足かけ登ろうとしたところ、足を捻り、負傷した。	65	3	419	30 ～ 49
54	2012	8	16～ 17	真空土練成型機の口金の錆落とし作業中、口金を台の上に置き、片手でハンドグラインダーを持ち、厚さ調整金具を口金の上に置き、もう片方の手で押え、グラインダーをかけていたところ、厚さ調整金具が滑って跳ね、手拇指の付根に当たり、切傷した。	34	8	153	1～ 9
55	2012	6	6～7	ホースに穴が開いていたので、フレット（石をこなす臼）の機械を止め、2階に登ったところ、足を滑らせ約4m程下に転落した。	67	1	416	1～ 9
56	2012	6	16～ 17	止まっている機械の上で作業中、誤って別の従業員が機械のスイッチを押し、機械が上へ動き出し、手を挟まれ負傷した。	63	7	169	1～ 9
57	2012	5	19～ 20	真空土練機から押し出される串状の荒地を切断機にセットする作業中、荒地の先端を手で掴みながら、切断機近くのガイドまで誘導したところ、ガイド先のカッターの刃まで手が届き、カッターで親指の爪の一部を切り、負傷した。	41	8	169	30 ～ 49

58	2012	4	17～ 18	ベビーサンダーで石材加工作業中、誤って手親指に接触し、負傷した。	55	7	153	10 ～ 29
59	2012	4	8～9	休憩室から持ち場へ戻るため、歩行中、床の段差を踏み外し、足首を捻り、負傷した。	22	2	417	10 ～ 29
60	2012	4	9～ 10	不良品廃棄ラインに乗せた瓦が落ちそうになり、進入禁止の場所に入り、瓦を直そうとしたところ、足を踏み外し、約2.5m下の1階に落ち、踵の骨が折れた。	50	1	414	10 ～ 29
61	2012	3	13～ 14	被災者は瓦原料土製造のA工場で、原料土をホッパーから次工程の攪拌機へ運ぶベルトコンベアのベルトやエンドローラーに土が付着し、ベルトコンベアが正常に動作しなくなっていた為、付着した土を取り除こうと、手に治具の金ヘラを持ち作業していたところ、回転中のベルトとエンドローラーに挟まれ、腕を負傷した。	36	7	224	50 ～ 99
62	2012	3	7～8	石膏置場にて、荷受け準備の為にショベルローダーで石膏をかき揚げ作業中、パケットに石膏を積み過ぎショベルローダーの後輪が上がってしまい、あわてて石膏を降ろした為、浮いていた後部が地面に落ちてバウンドし、被災者も運転席でバウンドし、腰と首を痛めた。	48	19	222	50 ～ 99
63	2012	2	17～ 18	白地成形作業中、被災者は、成形機に接続された白地移動用のアーム（上下左右移動：エア式）が成形機の左方向へ移動している間に成形機内（右隅）に入り、成形機後方に連結されているプレス機のゴミをエアにて吹き飛ばしていた際、左方向に移動していたアームが右方向に移動してきたため、慌てて成形機内から出ようとしたが、アームの固定板と成形機フレームとに頭部を挟み、負傷した。	40	7	167	1～ 9

64	2012	2	16～ 17	製品保護を目的とするチューブ入れ工程で、アルミ製品をビニールチューブへ入れて梱包する際、繰り返し作業している途中で薬指の先端が、ビニールチューブを切断する為のカッターの刃に接触し負傷した。	30	8	169	10 ～ 29
65	2012	1	20～ 21	敷地内工場にて、バケットコンベアが故障したため、点検孔を開け、確認作業を行っていたところ、砂の自重により、砂が入った容器が下がり、容器と床の砂との間に手が挟まれた。	59	7	224	30 ～ 49
66	2012	1	13～ 14	釉薬のタレ受け（溜まり受け）の清掃中、タレ受けに乗り、タレ受けと共に落下し、足首を骨折した。	51	1	418	50 ～ 99
67	2011	9	21～ 22	工場において、成型・施釉ライン管理業務中、白地移載機の白地瓦の停止位置に違和感を感じたため、操作盤（高さ約2m）に上がり、確認したところ、異常がないため飛びおりた際、右足首に衝撃が走り負傷した。	34	3	416	10 ～ 29
68	2011	9	14～ 15	トラックの荷台から荷物（瓦）を下ろしている際、ふらついて脇の石垣に、荷物を持ったまま右手小指を殴打し負傷した。	53	3	529	10 ～ 29
69	2011	8	15～ 16	屋根棟直しのための瓦葺工事にて、余ったセメントを屋根から下ろし、容器を洗った後、再び屋根に上るため戻ろうとした際、施住宅に飼われ繋がれていた犬の紐が届かないと思い歩いていたら、紐が更に建物に張った針金に繋いであったため、予測していたより紐の届く範囲が広く、飛び出してきた犬に左腕を噛まれ負傷した。	62	90	719	1～ 9
70	2011	8	9～ 10	コンクリート製品製造ラインで作業中、ラインオペレーターがブザーを鳴らし、ラインを確認し、コンクリート製品の台車を動かしたところ、落ちたネジを取ろうとして台車の間に左手を入れ挟まれてしまった。	44	7	149	30 ～ 49
				工場において、石香炉に穴を開けようと穿孔機（石材孔開機）				10

71	2011	6	11～ 12	を操作中、誤って穿孔機先端部に手が接触し、負傷した（スイッチは切っていて、回転していない状態だった）。	36	8	169	～ 29
72	2011	5	14～ 15	工場内で瓦作業中に鉄のパレット箱用の瓦を積むパレットの高さ2mぐらいのところから瓦を手で一枚ずつ降ろしたあと、下に降りる時にパレットから足をふみはずしコンクリートの地面に落ちて左足を骨折した。	63	1	379	1～ 9
73	2011	5	15～ 16	A工場2号プラントの下におりて生コン積込中に車から降りた際、生コン車に水を入れるホースを踏んで左足を負傷した。	35	3	221	30 ～ 49
74	2011	2	11～ 12	当社工場成型場において、粘土の種類が変わった為、スクリー供給機の中の粘土を確認しようと移動梯子を据え付け、上っている時、固定が不安定だったため梯子がぐらつき足を踏み外し落下し、左手を地面につきその左肩を脱臼した。	29	1	371	10 ～ 29
75	2011	1	11～ 12	倉庫内で製品の片付け作業中パレットに足を掛けた状態で作業をして足を滑らせ落下転倒し顔面を強打した。	61	1	379	10 ～ 29
76	2010	11	9～ 10	ダイヤ(トイシ)製造課内の金属粉末造粒攪拌工程で混合済の造粒金属粉末を取り出す時に事故が発生。取り出し口のハッチをあけ造粒機のローターを回転させながら受け容器に造粒を自動で掻き出し終える課程で粉の有無確認等の理由でローターの回転を止めないで掻き出し口から右手人差し指を入れた時袋ごと指を巻き込まれ、右手人差し指第1節部分を裂傷及び同指を2ヶ所骨折した。最初のA病院では手術困難との判断でB病院を紹介、4時間に及ぶ縫合、金属添えあて手術を施術。	49	7	169	50 ～ 99
77	2010	11	9～ 10	当社工場内において、バンドソー(切断機)で製品を切断作業中、切断した製品が転がり落ちそうになったので、右手で取ろうとした際に、右手中指が機械の刃に触れ、同部先端を切った	63	8	169	10 ～ 29

86	2010	2	16～ 17	原料を1 tワンウェイバックに詰めフォークリフト（1本爪）にて倉庫へ搬入する工程で、被災者がワンウェイバックの紐を撚り、フォークリフトの爪に掛け別の作業員がフォークリフトにて吊り上げの途中、撚った紐が解けそうになった為、撚りを正そうと手を紐に掛けたところ、撚った紐の間に右手親指を挟み親指第一関節より先端を潰したもの。	47	7	611	30 ～ 49
87	2009	12	16～ 17	工場より大理石を積み登山道を下降中、対向車のダンプ2台と離合するためバックしたところ、突然運転席が1 m程浮いた状態となって3回バウンドした。この際、体が宙に浮き落ちた際に腰を強く打って、腰部を骨折した。	55	3	231	50 ～ 99
88	2009	10	8～9	粘土供給コンベアに粘土が付着し、コンベアが蛇行運転していた為、機械を停止して付着した粘土を取り除こうとした。しかし、短いドライバーでは思うように取れず、機械を動かしながら取ろうと思い、ベルトコンベアを稼動させた所、ドライバーと共に左手がコンベアベルトとロールの間に、巻き込まれ負傷した。	36	7	224	30 ～ 49
89	2009	10	15～ 16	工場内粘土瓦製造工程である切断機において、荒地（長さ約30 cm、重量約5 kg）が次工程に進まない異常が発生し、シャッター（荒地を止めてハリガネにて切断する際のストッパー）の下部に荒地が挟まった。本来の手順では切断機の電源を落とすか、手動スイッチに切り替えて異物を取り除くが、今回、自動スイッチのまま切断機に手を入れたため、ストッパーにあるセンサーが粘土に反応し、切断機が稼動し、右腕をハリガネで切った。	66	8	169	1～ 9
90	2009	8	11～ 12	被災者が機材選別場にてリフト作業を行っていた時、製品積込ラインの「パレット定位置異常」が発生し、ラインの途中で止まっている空パレットを発見した。復旧の為、空パレットを積込定位置まで引っ張ろうと思い、下部にあった配線カバー（鋼	42	19	418	30 ～

				製) になにげなく右足を掛け上がろうとした時、カバーを固定するボルトを踏んだらしく、骨折して痛みを感じその場に座り込んだ。				49
91	2009	8	9～10	工場において、金属扉（枠組に使用する型枠扉）を移動しようとしていた。通常、扉は立てた状態で置かれていたが、扉の裏面を掃除するために寝かせていた扉を立てせようとしたが立たせきらずに戻り、扉と床の間に指を挟んで骨折した。	55	7	521	1～9
92	2009	7	21～22	工場において、専用台車を手で押して倉庫へ運搬していた。運搬中、床に敷いてある鉄板（厚さ約15mm）の段差に車輪が引っ掛かり転倒した。その際、台車と床の間に膝の上部が挟まれ負傷した。	55	7	417	10～29
93	2009	5	8～9	自社瓦置場で、ダンプに瓦を積込む際、上に積まれた瓦を取ろうとした時に下の瓦がずれ、右足に落ちた。最初は我慢でき仕事を続けたが、帰宅後痛みが増した。	55	4	529	1～9
94	2009	4	14～15	工場に於いて、焼成金具の片付け作業中、両手に金具（300×100×100、約3kg）を持ち、高さ30cm位の作業台から降りようとした所、床の段差に足をとられて転び負傷した。	53	1	371	10～29
95	2009	3	8～9	工場内で焼成台車を移動中、前の台車にぶつかりそうになり、止めようとして、台車と台車の間に右手指を挟み、負傷した。	25	7	362	30～49
96	2009	3	14～15	自動成型機の就業中、金型の移動時に不注意でレールと金型と上昇ストッパの間に左手指を差し込んで、挟み込み、手指を負傷した。	42	7	164	10～29
97	2009	2	16～17	当社工場内の積込み場に於いて、現場巡回中にコンベヤ部で異音がしたため、1・2箇所をチェックしていた所、2箇所目のところで着衣の右袖がローラーとベアリングの部分に巻き込まれ、右腕と右肩を負傷した。	58	7	224	10～29

98	2009	2	16～ 17	工場内でプレス作業中に、芯地の位置が違ったので修正しようとして、誤って左手を挟まれた。	61	7	154	10 ～ 29
99	2009	2	10～ 11	生コン納入現場で、ミキサー車をバックで運転中、崖側に寄り過ぎたため、路肩が崩れ、ミキサー車と一緒に約5m下の水のない池に転落し、全身を打撲、負傷した。	56	1	149	50 ～ 99
100	2009	2	14～ 15	砕石工場内において、砕石運搬の為、ベルトコンベヤの下に、コンクリートミキサー車を駐車させ積込中、ヘルメット未着用のまま、ドラム内を確認しステップを降りる途中、足を滑らせて約2m下の未舗装の地面に転落した。	58	1	221	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。